

《 H19年度 所沢商工会議所青年部 海外視察研修会レポート 》

平田育士

17年度のベトナム・ホーチミン、18年度のマレーシア・クアラルンプールに引き続き、今年度は、ベトナムの首都・ハノイへ7月5日（木）～9日（月）の5日間海外視察に行つて参りました。

初日の5日AM7：45成田第2ターミナルに集合し、9：45発キャセイパシフィック航空にて香港を経由し、入国審査後PM5：00頃に目的地のハノイに到着しました。空港内は冷房が効いていて快適でしたが、一步外へ出るやかなりの蒸し暑さでした。夕食場所へ向かう間、専用車で市内を視察しました。現地ガイドさんによると「ハノイのバイクの数はホーチミンに比べると半分」だそうです。おびただしい数のバイクが右往左往し、而もそのバイクは2人～3人乗りが当たり前でクラクションを鳴らし続けていました。ガイドさんによると日本製（ホンダ）の100ccのバイクは¥160,000位、中国製は¥30,000～40,000位、但し故障が多いそうです。交通量全体の中での車の占める割合は、2年前のホーチミンより多かつたように感じられました。建物は、かつてフランス領国であつた影響でヨーロッパ調の綺麗な建物も多かつたです。ちなみにハノイの物価はホーチミンの0.8倍。一般サラリーマンの月収は、¥20,000～だそうです。

夕食を取つた後、ソフィテルプラザハノイへと向かいました。市の中心からは離れていましたが、タイ湖並びにホン川が見渡せる綺麗なホテルでした。

2日目（7月6日）。本研修会のメインであります、国営企業のTHANG LONG METAL WARESを視察しました。バイクのパーツ、ステンレス製の鍋・やかん・包丁・食器、ランプ等を作っている工場です。主な輸出国は中国やアメリカ、スウェーデン等で、日本との交易は無いそうです。工場内は、人件費が安い為でしょうが、労働者が多く、製作工程ごとに分担されておりました。最新の設備は導入されて居らず最低限の機械がありました。

郷土料理の昼食後、市内を視察しました。先ず《ホーチミン廟》。“ベトナム建国の父”ホーチミン氏の遺体が安置されている処で、広大な敷地に石造りの建物と、緑の芝がとても綺麗でした。次に蓮の花を模して建てられたという《一柱寺》。そしてベトナム初の大学として知られている《文廟》。共に11世紀・李朝時代に建てられたそうですが、中国を思わせる歴史あるたたずまいでした。《ホアンキエム湖》街の中心にあり市民の憩いの場所だそうです。

ベトナム料理の夕食後、水上人形劇を鑑賞しました。

3日目（7月7日）。この日は世界遺産の《ハロン湾クルーズ》へと向かいました。ハノイから車で3時間半。長旅でしたが「龍が降りる地」という意味のハロン湾はまさに壮大且つ幻想的な絶景でした。ここでは真珠の養殖も行われているそうです。景色にも増して船上で食べた新鮮なエビ・かに・シャコ等のシーフードも非常に美味し

かったです。ハノイへの帰路、焼き物で有名な《バッチャン村》を視察した後、《ドンズアン市場》へ。衣類・履き物・バッグ・雑貨・民芸品・陶器・食材等が処狭しと陳列してありましたが、何だか雑然としていて欲しい物が見つげにくかったです。この日がベトナム最終日。夕食はベトナムフレンチを堪能させて頂きました。

2年前のホーチミンそして今回のハノイ、2度もベトナムに来れるとは思っていませんでした。言葉も解らないし数日間の滞在でしたので多くは語れませんが、とにかく活気のある魅了あふれる国でした。近い将来是非とも又ベトナムを訪れたいものです。

4日目（7月8日）。ホテルで朝食を済ませた後、香港へ向かうため空港へ。約2時間のフライト。入国審査後外へ出ると、ベトナムにも負けぬ暑さでした。専用車で街中を視察しましたが、香港は大都会でした。大きなビルが建ち並び、東京以上に発展しているように見受けられました。ガイドさんによると香港は土地が狭く、地価が非常に高いために、上へ上へと建物が伸びているとのことでした。街中は道路も良く整備されており、広告で全面を飾られた2階建てバスも走り、商店も綺麗でした。夕方には《ビクトリアピーク》にて香港の夜景も鑑賞させて頂きました。

5日目（7月9日）。《黄大仙》視察と宝石店並びに免税店で買い物をした後、名残惜しくも東京へ向け帰国の途に。PM11:30頃無事所沢着。

今回の海外視察は、ベトナム・ハノイと香港2カ国を視察できました。全く違う国ですが、それぞれにその国の良さが在りました。何らかの形で今後のビジネスの上で役立てていけたら幸いです。

最後になりますが、今回の海外視察研修会を企画して頂きました馬場会長・久米委員長を始め、5日間楽しい研修会を共に過ごさせて頂きました参加者の皆様方に御礼を申し上げ、レポートとさせて頂きます。